

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2017年5月30日火曜日 0:45
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2017年5月30日発行

中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2017年5月30日発行

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】
http://csih.sakura.ne.jp/syoseki/syoseki_hannpuitirann2016.3.pdf

【CONTENTS】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【2】有志による見学会のご案内（名工大図書館／四日市・末広橋梁・潮吹き堤防）
／橋本英樹【New】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第147回研究会 2017/07/23（日）予定 13:00～14:15 トヨタ産業技術記念館 ホールA
- 第3回さんぎ大学 2017/07/23（日）同上 14:30～16:50 同上
- 第148回例会／見学会 2017/09/24（日）13:00～未定
- 産業考古学会 2017年度全国大会 2017/10/27～29
プレ見学会 2017年10月27日（金）午後（四日市 末広橋梁・潮吹き堤防ほか）
全国大会 2017年10月28日（土）トヨタ産業技術記念館
見学会 2017年10月29日（日）終日（見学先等未定）
- 豊田佐吉生誕150周年記念行事 2017/11/12（日） トヨタ産業技術記念館
- 第149回例会／パネル展講演会 2017/12/03（日）13:00～17:00 名古屋市都市センター予定

【2】有志による見学会のご案内（名工大図書館／四日市・末広橋梁・潮吹き堤防）
／橋本英樹【New】

橋本が中心になりまして、産業考古学会 2017年度全国大会の際のプレ見学会の下見も兼ねて（電車と徒歩での移動でどのくらいの時間がかかるかの確認のを兼ねて）次の通りの見学会を行います。

参加をご希望の方がおいでしたら、橋本まで電子メールにてご連絡下さい。

【概要・見学先】

今回の見学は、四日市港の末広橋梁が平日にしか開閉しないことから、平日に実施します。
見学先は、

(1) 名古屋工業大学図書館 (山本卯太郎の論文と図面を見学)

(2) 四日市港 末広橋梁 (跳開橋・重要文化財)

(3) 四日市港 潮吹き堤防 (重要文化財)

です。

四日市港にある末広橋梁は、名古屋高等工業学校土木科第8回卒業の山本卯太郎の設計・製作による跳開橋です。貨物線の跳開橋で、1931年竣工、現時点で日本で唯一、現役の鉄道の跳開橋です。重要文化財に指定されています。

山本の手による跳開橋は、名古屋港にも存在しますが、こちらは既に動きません。

今回の見学では、末広橋梁に行く前に、名古屋工業大学図書館にある山本卯太郎の論文と、図面を見学します。名古屋工業大学図書館の全面協力を頂きましたので、見学のための部屋をご用意頂き、そこで見るようにしていただきます。

その後、JR四日市駅経由で末広橋梁まで移動します。

さらに、近くの潮吹き堤防の見学をします。

この潮吹き堤防は、服部長七による人造石工法によるもので、この潮吹き堤防も重要文化財となっています。竣工は1884年です。

【当日の予定】

集合 2017年6月13日 9:20頃 名古屋工業大学24号館1階ロビー
(正門を入れてすぐ左にある24号館の1階に入ってすぐの椅子のあるところ)

当日の予定

9:30頃 名古屋工業大学図書館に参加者全員で一緒に入ります(遅刻しないでください)。
10:30頃 名古屋工業大学図書館を出発、JR鶴舞駅経由で名古屋駅まで移動
11:05 JR名古屋駅発関西本線快速にてJR四日市まで移動
11:45~ 末広橋梁まで徒歩にて移動(千歳運河の左岸側に先に移動)
12:30 末広橋梁が下がる
12:45 四日市港駅貨物列車が通過
貨物列車通過後、希望者のみ、千歳運河の右岸側に移動
移動は、道路用の可動橋である臨港橋を経由
12:56 四日市行き貨物列車が通過
13:07 末広橋梁が上がる
13:15頃 全員集合して潮吹き堤防まで移動
13:40頃~潮吹き堤防見学
16:00頃までには現地解散

現地では写真撮影、ビデオ撮影などゆっくりとできます。

ただし、行程の都合上、食事に行くことができませんので、途中で弁当やお茶などを各自、購入願います。弁当とお茶を持参でも構いません。

【雨天の場合】

小雨の場合は決行とします。大雨の場合は日程を変更します。

前日までに参加ご希望の方にはご連絡致します。

【参加費】

実費(鶴舞~四日市は片道760円です)を各自ご負担下さい。

保険等はかけませんので、各自、事故など起こさないようお気を付け下さい。

【特記事項】

当日は、名古屋工業大学の都市工学科の北野利一教授もご参加頂けます。

また、服部長七の人造石の研究報告で数多くの実績のある中部産業遺産研究会事務局長の大橋公雄先生にもご参加頂きます。

なお、末広橋梁は平日ならば動くはずですが、貨物列車が臨時運休になった場合には、動きません。この貨物列車のダイヤは公開されていないので、運休になるかならないかの情報はありません。動くはずだということで行きますから、予め、ご了承(覚悟?)して頂けましたらと思います。

また、当日は蒸し暑い中をかなり歩く上、給水可能な場所が少ないので、お茶

